

闘虎

No. 43 Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
平成27年 夏季号



千代田の萌芽、世界で開花を！

世界レスリング選手権大会壮行会

8月22日、前橋テルサにおいて、「松本篤史・木村安里世界レスリング選手権大会ラスベガス大会壮行会」が行われた。千代田ジュニア出身の両選手は、6月19~21日、代々木第2体育館で行われた「明治杯全日本選抜レスリング選手権大会」において、見事優勝。昨年12月の天皇杯で優勝している松本篤史（千代田jr一館高一日体大一ALSO）は、決勝で新敵・赤熊猶弥（自衛隊）に1P終了時点で、2-7と苦しい展開だったが、持ち前のスタミナで2Pは圧倒、10-7で下し、即代表が決定した。天皇杯では菅原ひかり（至学館大）に敗れ、第2位だった木村安里（千代田jr一西邑楽高一群馬大3年）は、明治杯では3-1でリベンジ。プレーオフでも返り討ち、見事、現役国立大生としては初の世界選手権出場権を獲得した。両者は、総勢150人集まった壮行会で力強い「必勝宣言」をアピールして、多くの人と固い握手を交わした。

◆発行／群馬県レスリング協会会長 柳川益美 ◆編集／群馬県レスリング協会広報委員会



明和レスリングクラブに在籍して10年。ぼくは3歳のころからレスリングが生活の一部になっている。教えてくださる先生方は、阿部先生、篠木先生、川合先生、明和クラブ出身である富塚先生、そしてお父さんである。最近は、関東学園で指揮を執っていた米山先生が練習に来て、基本の動きを教えてくれたり、スペーリングの相手をしてくださったりする。

練習の前半は、基礎体力作りだが、そこにはゲームや遊びを取り入れたメニューがあり、みんなが楽しみながらも、体のいろいろな部分を鍛えるトレーニングができる。

明和のOBで、現在、館林高校の川上直也先輩が、先日の関東大会で優勝した。ぼくたちの目標となる存在であり、いつかぼくも大きな大会で勝てるような選手になりたい。

「継続は最強なり」。その言葉を信じ、ぼくたちは小学校、中学校、高校、大学と大きな夢を持ってマツトに立ち続けたいと思う。

■練習日時 毎週火（午後6時～7時半）・木（午後6時～7時）・土曜日（午後4時～6時）

練習会場 明和中学校武道場

継続は最強なりを信じてマツトに立ち続けたい！

明和中1年 坂上 拓瑠

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第43回 明和レスリングクラブ

「スタイルジーレッスン」

清水 真理子さん（富岡市・41歳）



SCHEDULE

■館林市民秋季大会

9月5日（土）
館林市城沼総合体育館

■全日本女子オープンレスリング選手権大会

10月11日（日）
三島市民体育館

■国民体育大会

9月27日（日）～30日（水）
那智勝浦町体育文化会館

■県民総体・高校新人戦 群馬県小学生総体

11月8日（日）
館林市城沼総合体育館

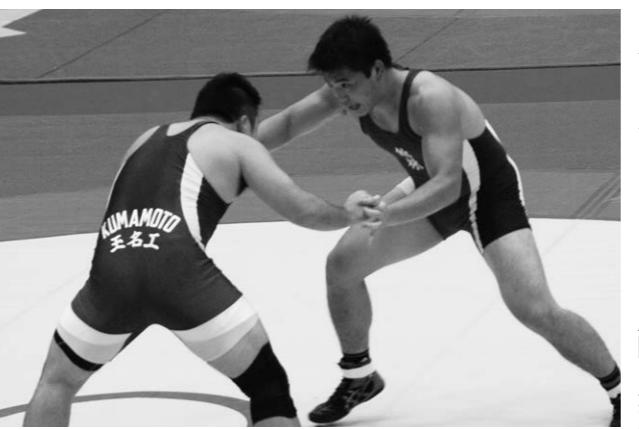
■上武洋次郎杯 少年少女レスリング大会

11月15日（日）
邑楽町民体育館

□この写真は97年フランスで行われた世界選手権、ノルウェーの世界チャンピオン・ヤンピオン・イネ選手と戦っているところです。このときは、イネ選手のアンナ選手に敗れ、銀メダルでしたが、フランストやジュニアではなく、全日本で優勝しなければ世界には行けなかつたのですが、ジャパンのユニフォームを着て嬉しくてたまりませんでした。私は兄の影響で物心ついたときからレスリングを始め、高校のときは佐藤正樹先生にマンツーマンで指導していただきました。今私があるのは佐藤先生のおかげです。私は指導者として、レスリングの楽しさを多くの人に知つてもうために普及活動をしながら、強化もしていきチャンピオンを育てたいと思います。

吉澤瑠依（館高）インターハイ3位！

近畿インターハイ



8月2～5日、舞鶴文化公園体育館において「全国高校総体レスリング競技会（インターハイ）」が行われた。学校対抗戦に出場した館林高校は、日本文理大附（大分県）、網野高（京都府）、種市高（岩手県）を破り8強入り。準々決勝では、飛龍高（静岡県）に敗れたものの、3年連続ベスト8入りを果たしたが、8の壁を破り、団体戦でのメダルが待望される。

個人戦では、吉澤瑠依が持ち前のパワフルなレスリングを展開、全国

選抜に続く「全国銅メダル」を獲得した。また、女子では、鈴木芽衣が第3位入賞を果たした。

【個人戦】 ◇ 96kg級 ③ 吉澤瑠依（館林）
【女子】 ◇ 60kg級 ③ 鈴木芽衣（市太田）

小学生は千代田JrVV！中学生は明和が優勝！群馬県スポーツ少年団大会

8月2日、群馬県総合スポーツセンターにおいて「第51回群馬県スポーツ少年団大会レスリング競技会」が行われた。ジュニア唯一の団体戦で、今年も猛暑の体育館の中、熱闘が繰り広げられた。

順位は次のとおり。

【小学生】 ① 千代田Jr ② 赤羽Jr
③ 邑楽Jr
【中学生】 ① 明和クラブ ② 邑楽Jr
③ リトルタイガ

主将の意地！川上直也激戦グレコ66を制す！関東高校レスリング大会

8月6・7日、上尾市運動公園体育館において「関東高校レスリング



グレコで強さを發揮した明和クラブ出身の川上

大会」が行われた。フリー勢が準決勝止まりの中、グレコ部隊は3選手が決勝進出。その中で、川上直也が際どい試合を制し優勝。昨年度、全国準Vメンバーを揃えながら、「金ゼロ」であったが、今年は館高主将が意地を見せた。

3位以内入賞者は次のとおり。

【フリースタイル】 ◇ 50kg級 ③ 寺田有輝（館林） ◇ 66kg級 ③ 吉澤瑠依（館林）
【グレコローマン】 ◇ 50kg級 ② 吉岡翔一朗（西邑楽） ◇ 66kg級 ③ 吉川上直也（館林） ◇ 74kg級 ③ 若野（市太田）
【女子】 ◇ 60kg級 ② 八木橋万葉（前田） ◇ 120kg級 ③ 本州汰（館林） ◇ 120kg級 ③ 林慶悟（市太田）
【女子】 ◇ 60kg級 ② 関谷佳那子（西邑楽） ◇ 65kg級 ③ 林翔一朗（西邑楽） ◇ 66kg級 ③ 吉川上直也（館林） ◇ 74kg級 ③ 若野（市太田）
【女子】 ◇ 60kg級 ② 関谷佳那子（西邑楽） ◇ 65kg級 ③ 八木橋万葉（前田） ◇ 120kg級 ③ 本州汰（館林） ◇ 120kg級 ③ 林慶悟（市太田）
【女子】 ◇ 60kg級 ② 関谷佳那子（西邑楽） ◇ 65kg級 ③ 八木橋万葉（前田） ◇ 120kg級 ③ 本州汰（館林） ◇ 120kg級 ③ 林慶悟（市太田）

自分で夢の実現や目標達成に向けて、意識を高め、練習に取り組みレベルアップできるかどうか、そこがチビッコと高校レスリングの違いだと思います。金子先生の指導は、「強くなる」ためにはどんなことが大切か、一人ひとりに合わせて、指導してくださっています。ライバルは自分を越えない限り、絶対に強くなれないと思います。負けていた相手に勝ったときや、強い先輩からポイントを取れたとき、レスリングをやっていてよかったです。負けていた相手に勝ったときや、強い先輩からポイントを取れたとき、レスリングをやっていてよかったです。目標はインターハイでメダルを取ること。将来の夢は、オリンピックに出場し、金メダルを取ることです。



市立太田高校
宮原 初花さん（1年）

なでしこGUNMAのレスカイーン

ぐんまの夏の風物詩！今年もアメリカ力満喫！日米レスリング交流事業

毎年恒例の日米交流事業は、今年は遠征の年。県内の中高校生10人の選手団が7月21日に出発、米国インディアナ州のカーメル市、ノーベルズビル市、ジエファーソンビル市をまわり、各地の人たちと熱い交流をしたあと、おなじみのロサンゼルスでUSSJ。31日、元気な姿で帰国した。



2年連続優勝は天賦の才！松井礼士（OSA）

藤倉優花3年ぶりVV！松井礼士2年連続VV！全国少年少女選手権大会

7月24～26日、代々木第1体育館

6月6・7日、茨城県スポーツセンターにおいて「全国中学生レスリング選手権大会」が行われた。昨年はメダルゼロに終わった県勢だが、今年は最後の全中となる小林奏音が、準決勝で逆転フル勝ちを收め、銀メダルを獲得した。

【女子】 ◇ 70kg級 ② 小林奏音（邑楽）
【男子】 ◇ 70kg級 ② 松井礼士（邑楽）
【女子】 ◇ 53kg級 ② 岩佐真衣（館林）
【男子】 ◇ 53kg級 ② 松井礼士（館林）
【女子】 ◇ 45kg級 ② 松井礼士（館林）
【男子】 ◇ 45kg級 ② 小林奏音（館林）
【女子】 ◇ 33kg級 ② 岩佐真衣（館林）
【男子】 ◇ 33kg級 ② 松井礼士（館林）
【女子】 ◇ 28kg級 ③ 田口刹奈（館林）
【男子】 ◇ 28kg級 ③ 松井礼士（館林）

最後のインカレ燃焼！今村聖が第3位入賞！全日本学生選手権大会

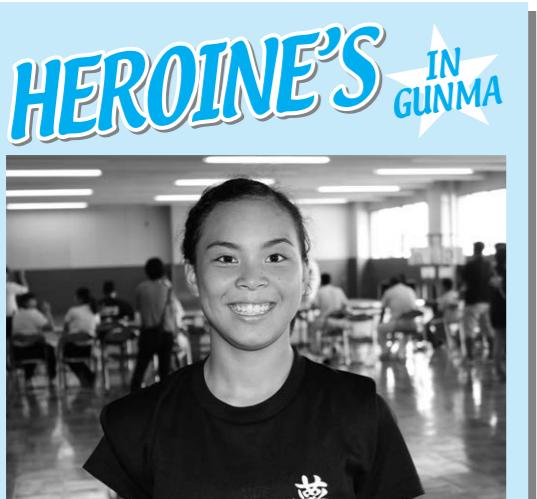
8月18～21日、駒沢公園体育館にて

おいて「全日本学生レスリング選手権大会」が行われた。最後のインカレとなりた早大4年・今村聖が、激戦階級であり群馬の伝統階級の74kg級で、準決勝進出。決勝進出はならなかつたが、第3位入賞を果たし、12月の天皇杯出場権を獲得した。

【女子】 ◇ 53kg級 ② 金子和（早大）
【女子】 ◇ 53kg級 ③ 鈴木紅夏（東洋大）
【男子】 ◇ 63kg級 ③ 森瀬伸二（太田）
【男子】 ◇ 63kg級 ③ 鈴木紅夏（東洋大）
【男子】 ◇ 63kg級 ③ 金子和（早大）



社行会IN太田市。宮原乙葉は2度目の遠征！



藤倉 優花 選手
(邑楽ジュニア)

私にとって、最後の全少だったので、どうしても優勝したいという気持ちでした。練習では、「崩し」を反復してきました。準決勝戦では、0-0のまま、延長戦になりましたが、そのときも、もうだめかな、という考えは一切持たず、絶対勝つ、絶対勝つと自分に言い聞かせながら、試合をしました。優勝したときは、とてもうれしかったです。3月の全少選抜でも優勝したいです。

藤倉優花3年ぶりVV！松井礼士2年連続VV！全国少年少女選手権大会

7月24～26日、代々木第1体育館

6月6・7日、茨城県スポーツセンターにおいて「全国中学生レスリング選手権大会」が行われた。昨年はメダルゼロに終わった県勢だが、今年は最後の全中となる小林奏音が、準決勝で逆転フル勝ちを收め、銀メダルを獲得した。

【女子】 ◇ 70kg級 ② 小林奏音（邑楽）
【男子】 ◇ 70kg級 ② 松井礼士（邑楽）
【女子】 ◇ 53kg級 ② 岩佐真衣（館林）
【男子】 ◇ 53kg級 ② 松井礼士（館林）
【女子】 ◇ 45kg級 ② 松井礼士（館林）
【男子】 ◇ 45kg級 ② 小林奏音（館林）
【女子】 ◇ 33kg級 ② 岩佐真衣（館林）
【男子】 ◇ 33kg級 ② 松井礼士（館林）
【女子】 ◇ 28kg級 ③ 田口刹奈（館林）
【男子】 ◇ 28kg級 ③ 松井礼士（館林）

最後のインカレ燃焼！今村聖が第3位入賞！全日本学生選手権大会

8月18～21日、駒沢公園体育館にて

おいて「全日本学生レスリング選手権大会」が行われた。最後のインカレとなりた早大4年・今村聖が、激戦階級であり群馬の伝統階級の74kg級で、準決勝進出。決勝進出はならなかつたが、第3位入賞を果たし、12月の天皇杯出場権を獲得した。

【女子】 ◇ 53kg級 ② 金子和（早大）
【女子】 ◇ 53kg級 ③ 鈴木紅夏（東洋大）
【男子】 ◇ 63kg級 ③ 森瀬伸二（太田）
【男子】 ◇ 63kg級 ③ 鈴木紅夏（東洋大）
【男子】 ◇ 63kg級 ③ 金子和（早大）